

滝上の人

〜できることから一歩ずつ〜

今回は、滝下 井上 愛美 さんにスポットをあてていきます。

井上さんは、平成元年生まれの31才。3人姉妹の末っ子です。父親は井上秀幸さんで、滝下で酪農業を営んでいます。幼いときは牧場の敷地内で鬼ごっこやかくれんぼなどをして遊んでいました。牛以外にも馬、犬、猫、アヒル、アイガモなどの動物に囲まれ、元々動物は好きだったので

滝上に戻るきっかけは？

大学3年の時には滝上に帰ろうと何となく決めており、両親からも承諾をもらっていた



喫茶店でコーヒーの準備をする井上さん

たので、大学卒業と同時に滝上に帰って来ました。

引き続き創作活動を続けたかと思っていたので、アトリエになりそうなスペースがあり、大きい糸のこや、グラインダー(研磨機)、ボール盤など必要な道具が揃っている自分の実家が、創作の環境として大変魅力的に見えました。

これまでの活動、現在、今後の希望など教えてください。

大学卒業後は、イラストや立体物の制作活動と実家の酪農業のお手伝いをしていました。

グラフィックのデザインは専攻が異なっていたため学んでおらず、独学のようなもので身に付けた技術のため、創作に当たって日々悩んでいます。

しかし、完成したものが誰かの手に届いて、その方に喜んでいただけたときがうれしくやりがいを感じます。何かを創るとき、私たちが思い浮かべてくれる方達に感謝の気持ちを含めたよりいいものをお返しできるように、これからもスキルアップしていきます。

たいです。

現在の活動につながる転機となったのは、平成28年に真ん中の姉夫婦が本州での会社員生活に一区切りをつけて、滝上に帰って来たことです。以前から「一緒に何かやろう」と話していたことが、実際に進み始めました。

平成28年に、過疎地を応援するユニット「Casochi 合同会社」を設立しました。この場所で、楽しく過ごしたい、ということがコンセプトです。

町内のつながりで、父や姉が以前からお世話になっていた、喫茶「すみれ」(栄町)店主の谷田真弓さんから場所を借りられることになり、会社の活動の柱として、昨年からは新たに喫茶のお店(カースイ)の営業を始めました。

店舗での営業のほか、町内で、地域の素敵なお店や人々を集めたイロバタイチバというイベントを開催したり、同じく紋別で開催される地域の事業者のイベントにも出店しています。

活動を通して、すぐそばにある、すぐできることを少し

ずつ積み上げていければと思っています。

皆さんにひとことお願いします。

滝上町出身とはいえ、町の中心からは離れた所に住んでいて、町に居なかった時期もあるので、知らない人、知らないこともたくさんあります。喫茶店を営むようになってから、知り合いが増え、いろいろなことを教えてもらう機会も増えました。

お客さんとの会話を通して、「なるほど」「すごい」とワクワクしながら話を聞かせてもらっています。

町民さんの数だけ「滝上の過ごし方」があるはずですので、ぜひ教えてください。



喫茶店(カースイ)の前で 妹 愛美さん(左) 姉 みなみさん(右)